



家庭教育応援企業と学校教育

「おしごと発見！ミライを考える出前講座」 家庭教育応援企業 陰山建設株式会社

県中地方振興局では、県中地区の小・中学生を対象に、キャリア教育の一環としての「おしごと発見！ミライを考える出前講座」を行っています。今回、郡山市立御館中学校で行われた出前講座の様子を紹介します。

11月8日（金）、郡山市立御館中学校一年生を対象に出前講座が実施されました。一時間目は、振興局の担当者より県中地区の地域の魅力や様々な企業の紹介をしました。自分の身近なところに、有名な菓子会社があったり、世界で活躍する企業があったりすることにとっても驚いていました。二時間目は、陰山工業株式会社の担当者より自社の説明がありました。公共施設や商業施設、住宅など様々な建物を建てていることや、入社してすぐにドローンパイロットの資格を取得し、建築現場でドローン撮影をするということに、生徒達は興味津々でした。また、インターネット上の仮想空間「メタバース」「メタ旅ふくしま」の製作をしており、生徒達はタブレット上やVRのゴーグルを付けて操作するなどして、仮想空間「メタバース」の世界を体験しました。生徒からは、「建設業のイメージが変わった」、「福島をメタバースにして伝えると世界中の人とつながることができる」といった感想があり、今後の進路や将来に想いを膨らませることができました。



「おなか元気教室」 家庭教育応援企業 郡山ヤクルト販売株式会社

家庭教育応援企業の「推進活動報告書」から「郡山ヤクルト販売株式会社」 「おなか元気教室」を紹介します。

うんちはおなかからのお便りです。出てくるうんちで、おなかの中の様子がわかります。ヤクルトでは、腸を丈夫にすることが健康で長生きにつながる「健腸長寿」という考えを基本として、うんちを「出す」ことに主眼を置いた出前授業を展開しています。「早ね、早おき、朝ごはん、朝うんち」をテーマに、おなか（腸）の働きと大切さそして良いうんちを出すための生活習慣について、わかりやすくお伝えしています。

2024年度は保育園・小学校・放課後児童クラブ・支援学校などで実施しました。保育園ではヤクルトマンの着ぐるみも使用でき、一緒におなか元気体操をすることもできます。この活動を通して地域の健康アドバイザーを目指し社会貢献活動に努めています。



家庭教育応援企業代表者の皆様へ

家庭教育を充実させるためには、家庭や地域だけでなく地元企業の家庭教育への理解や積極的な参加がますます求められています。そこで、各社の素晴らしい活動の様子をHPや企業通信等で広く紹介し、効果的な取組等を共有することで家庭教育の充実を目指していきたいと考えています。「職場の家庭教育推進」「生活習慣向上の取組」等、企業での工夫やアイデアも募集しています。ぜひ、活動報告書にてお知らせください。

日程を教えていただければ取材にも伺います！





私たちのまちや暮らしにある様々な課題。
その課題の解決に向けて、地域に暮らすみなさんを支えるのが
「社会教育士」です！



社会教育士って 知っていただけますか？

詳しくは
特設サイトへ



文部科学省 社会教育士

目的
社会教育法第9条の4の規定及び社会教育主事講習等規程に基づき社会教育主事の計画的な配置をするため、受講資格を有する者を資格取得講習会に派遣し、社会教育主事有資格者の養成確保を図る。

地域と学校が、パートナーとして連携・協働し、**社会総がかりでの教育の実現と福島県の社会教育推進**において、リーダーとして活躍できる**人物の育成**が求められています。県中域内においても社会教育主事資格者の養成を推進しています。

社会教育士は、文部科学大臣の委嘱を受けた大学等の教育機関が実施する講習や大学での養成課程を修了した人たちの称号です。講習や養成課程で習得した社会教育の制度や基礎的な知識に加え、**コーディネート能力・ファシリテーション能力・プレゼンテーション能力等**を活かし、行政や企業、NPO、学校等の**多様な場で活躍することが期待**されています。

みなさんも社会教育士の称号を取得し、社会教育推進のリーダーとして、活躍してみませんか。県教育委員会では、東北大学と国立教育政策研究所主催の講習を推奨しています。

こんな方に社会教育士になることを おすすめします！

行政職員

どの部署の職員にとっても必要な地域のニーズに寄り添い、地域住民と協働していくための専門的スキルが身につきます。つまり、全ての行政職員におすすめです。

NPOに所属する人

地域づくりや地域の課題解決に取り組む方には欠かせない、行政や住民等との連携・協働をスムーズにする「学び」のスキル・ノウハウが体系的に身につきます。

企業

企業が地域とともに持続的に発展していけるよう、地域の課題解決やSDGsの推進にも積極的に関わっていきたいという方、特に企業のCSR担当の方におすすめです。

学校の教職員

子どもの主体的・対話的で、探究的な学びの場や、社会に開かれた学校づくりを進めていくために、地域の人と連携したいと思っている方におすすめです。

受講経験者に聞きました <R6東北大学社会教育主事講習チラシ一部抜粋>

主事講習を受講して、学校と地域が協働することにより、子どもや地域の課題解決や学び、喜びにつながっていくこと、学校教育だけでなくさまざまな場所での学び、様々な人の学びが大切であること等を感じました。自分自身も今年度から社会教育施設で勤めていますが、学校の外、教員とは異なる立場で社会の中での学びについて考え、改めて学校教育についても考えていきたいと思っています。…略…
(社会教育施設職員)

地域コミュニティの再生や学校を核とした地域づくり、地域と共にある学校づくりを進めていくためには、社会教育主事や地域連携担当教員が学校と地域との架け橋なることが重要であると思います。子ども…略…
(教員)

東北大学社会教育主事講習 福島県受講経験者の声

社会教育主事講習に参加して、社会の中で様々な場所で社会教育が行われていることに気づきました。また、そのことで、自分の視野も広がりました。これからも人との繋がりを大事に…略…
(教員)

社会教育主事講習を経験すると「物事の考え方」が変わります。私自身もそうであったのですが、学校での教育活動は、学校の中の「ひと・もの・こと」だけで実現しようとしてしまいがちです。講習の中で学んだことや出会った方々の姿から「口にしたらおもしろそうだな」「OOさんと一緒にできないかな」とアイデアがたくさん浮かぶようになりました。…中略… 繋がりがあって、よりよい教育活動の在り方を一緒に考えていく、そのようなすてきな未来を、ぜひ皆様にも体験していただきたいと思います。
(教員)

私たちと一緒に、福島県の社会教育を盛り上げていきましょう！！

発行・編集 福島県教育庁県中教育事務所総務社会教育課

TEL:024-935-1488 HP <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70210a/>